

## 『TOKYO LIGHTS 2026』 閉幕

### 過去最高の約 8 万人が熱狂した“光の 9 日間” 東京の夜を塗り替えた 光の祭典がフィナーレ

#### ～プロジェクションマッピング国際大会 GRAND PRIZE が決定！

#### 落合陽一氏の新作や日本初上陸「GAIA」も話題に～

プロジェクションマッピング国際アワード TOKYO 実行委員会は、2026 年 5 月 23 日（土）から 5 月 31 日（日）までの 9 日間、都庁第一本庁舎 都民広場および西新宿エリアを舞台に開催した光の祭典「TOKYO LIGHTS 2026（トウキョウ ライツ ニーゼロニーロク）」を、盛況のうちに終了いたしました。開催期間中、国内外から約 8 万人が来場し、東京の新たなナイトタイム観光の可能性を世界に発信しました。

5 月 30 日（土）には、世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」の表彰式も執り行われ、世界から集まった作品の頂点が決定いたしました。

また、最終日となった 5 月 31 日（日）Grand Finale には、公式アンバサダーの俳優・土屋太鳳さんと、スペシャルサポーターを務めた土屋炎伽さん、土屋神葉さんが登壇。「TOKYO LIGHTS 2026」の魅力やイベント期間中の盛り上がりを振り返るトークステージで、会場を大いに盛り上げました。



世界 65 カ国、エントリー数 412 の頂点が決定！プロジェクションマッピング国際大会

#### ■プロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」

都庁の巨大な壁面を世界一のキャンバスに変えた「1minute Projection Mapping Competition」では、5 月 30 日（土）に表彰式が行われ、世界 65 の国と地域から寄せられた過去最多となる 412 のエントリーの中から、ついに

GRAND PRIZE「東京都知事賞」が決定しました。今回のテーマ「Dialogue/対話」を象徴するように、映像、音響、そして東京都庁舎の建築美が一体となった作品群は、訪れた観客を圧倒しました。

表彰式に登壇した小池百合子東京都知事は、「今回、プロジェクションマッピング国際大会を初めて都庁舎をスクリーンとして開催し、世界各国からレベルの高い作品が東京に集まりました。ここから世界へ羽ばたくクリエイターが生まれることを期待しています」と述べ、受賞者を祝福しました。

また、「東京は世界の都市総合ランキングで2位を獲得し、その理由としてナイトライフの観光充実度が挙げられている」としたうえで、「毎夜投影している都庁舎のプロジェクションマッピングは、常設建築物への投影として世界最大としてギネスにも登録され、これまで約140万人もの方々にご来場いただいています」と紹介しました。最後に、参加クリエイターや来場者への感謝を述べるとともに、「ご観覧・ご登壇の皆様方のさらなる活躍を期待しています」とエールを送りました。

GRAND PRIZE「東京都知事賞」を受賞した Signal Bleed 氏（ブラジル）は受賞スピーチで、「このような素晴らしいアーティストの皆さんとともにいられることを大変光栄に思います。ブラジルにいるパートナーや、ここで共に活動している仲間たちにも感謝しています。言葉では表せないほど感激しています。本当にありがとうございます」と喜びと感謝を述べました。



## ■ 受賞結果

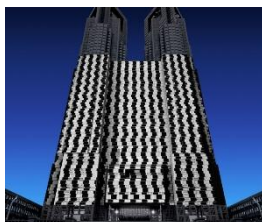
【GRAND PRIZE（東京都知事賞）】：「Touch Talk」 Signal Bleed（ブラジル）

【SECOND PRIZE】：「Aporia」 VPM（スペイン）

【THIRD PRIZE】：「The Beauty of Collision」 Bigcool（タイ）

【Tokyo Tokyo 賞】：「1Pulse」 Anionavision（ルーマニア）

【オーディエンス賞】：「Infinite Dialogue」 Taro Narahara（日本）



## アンバサダー土屋太鳳さんをはじめ、姉の土屋炎伽さん、弟の土屋神葉さん 揃って Grand Finale に登壇！

最終日の5月31日（日）に行われた Grand Finale では、公式アンバサダーの俳優・土屋太鳳さんに加え、スペシャルサポーターとして姉の土屋炎伽さん、弟の土屋神葉さんが揃って登壇。「TOKYO LIGHTS」を以前から楽しんでいた3人が揃って公の場に登場するという、本イベントならではの豪華な共演が実現しました。トークステージでは、太鳳さん、炎伽さん、神葉さんに加え、「TOKYO LIGHTS 2026」の石多未知行氏、小橋賢児氏の両プロデューサーが登壇し、それぞれの視点からイベントの魅力や光と映像のアートの印象について語り、会場は温かな盛り上がりに包まれました。



### 【トークステージ】

太鳳さんは、「弟の神葉から『忙しくても見に行っただ方が良い』とおすすめしてもらい、明治神宮外苑で開催していた TOKYO LIGHTS を訪れたことが、イベントを知るきっかけでした」と振り返り、プロジェクションマッピングは、「自分が回ったりジャンプしたりしているような感覚になり、自分を越えた体験ができました」とその魅力を語りました。また、Light Art Park については、「オフィスからや散歩中などに行ける、日常の中に溶け込むアートとして家族みんなで感動しました」と話し、特に『GAIA』について「私の『小さな家族』が、その下を駆け回ったり、大人は寝転んで眺めたり、今いる地球を改めて見つめ直すことができる作品だと感じました」と紹介しました。

炎伽さんは、都庁という都市空間を舞台にしたプロジェクションマッピングについて、「無機質な都会の景色の中に、自然の温かみや生命の躍動を感じました」とコメント。作品それぞれに込められたメッセージ性に感銘を受けたと語りました。また、Light Art Park では、『Embrace』をお気に入りの作品として挙げ、「手をつなぐことで色の変化し、その場にいる人たちとのつながりを感じられる特別な体験でした」と振り返りました。

神葉さんは、「初めて TOKYO LIGHTS を体験した際の感動を家族にも伝えていたので、今日こうして家族で登壇できたことがとても不思議でうれしい」とコメント。プロジェクションマッピングについては、「都庁舎が倒れてくるのではないかなと思うほどの迫力と没入感がありました」と語りました。また、Light Art Park の作品『Fractal Forest』について、「自分の姿が映しだされ作品の一部となり、そこから来場者同士が思い思いのポーズを試みたりと連鎖していく様子から、言葉を超えて伝わる光のアートの可能性を感じました」と、その魅力をお話いただきました。

石多氏、小橋氏の両プロデューサーからは、今回の TOKYO LIGHTS のコンセプト「Visible TOKYO」に込めた想いや、公共空間で楽しめるアートの魅力についても語られ、太鳳さん、炎伽さん、神葉さんも大いに共感していました。



<登壇者>

- ・土屋太鳳（公式アンバサダー）
- ・土屋炎伽（スペシャルサポーター）
- ・土屋神葉（スペシャルサポーター）
- ・石多未知行（「1minute Projection Mapping Competition」総合プロデューサー）
- ・小橋賢児（Light Art Park 総合演出）
- ・司会：井上奈保未

## 12 作品が夜の公園を美術館へと変貌させた、光のアートパーク「Light Art Park」

新宿中央公園では、総合演出・小橋賢児氏のもと、12の光のアート作品が点在する「Light Art Park」を展開。落合陽一氏の新作である4メートルの光柱『リキッドユニバース：蒼氓蟲譜 / Liquid Universe: Sōbō Chūfu — An Unclassifiable Entomologia of the Luminous Swarm』には、自然と都市の光が交錯する幻想的な光景を写真に収めようとする、来場者の姿が多くみられました。また、日本初上陸の Luke Jerram 氏による『GAIA』は、芝生広場に浮かび上がる巨大な地球型インスタレーションとして、SNSでも大きな話題に。さらに、奥中章人氏による『INTER-WORLD/Cocooner: Apparent motion of celestial bodies』は、実際に作品内部に入れる体験型アートとして、子供から大人まで幅広い層の関心を集め、多くの方々の記憶に残る体験となりました。

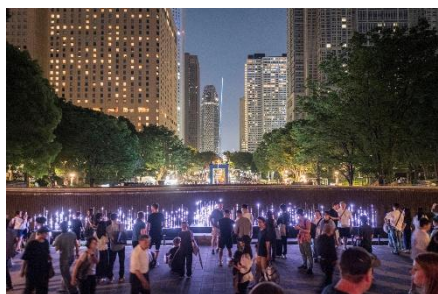


Courtesy of Light Art Collection

Created in partnership with the Natural Environment Research Council (NERC), Bluedot Festival and The UK Association for Science and Discovery Centres. With supporting partners Culture Liverpool and Liverpool Cathedral.

## 最終日まで、大盛況のうちに閉幕

初めて西新宿エリアを舞台に開催された「TOKYO LIGHTS 2026」は、SNSでも大きな話題を集めました。会期中は連日、家族連れやインバウンド旅行者をはじめとする多くの来場者が「Light Art Park」の舞台となった新宿中央公園を訪れ、芝生やベンチに腰掛けて作品を鑑賞したり、見て、触れて、体感したりと、思い思いに光のアートを楽しめる姿が見られました。会場は多くの笑顔と賑わいに包まれ、光とアートを通じて、人々が都市空間の新たな魅力に触れる場となりました。



## 東京の夜を彩るクリエイティブな光の祭典「TOKYO LIGHTS 2026」開催概要

■名称：TOKYO LIGHTS 2026

■開催日時：

2026年5月23日（土）～5月31日（日）

▶プロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」

会場：都庁第一本庁舎 都民広場

①作品上映：2026年5月23日（土）5月24日（日）／19:20～20:10・20:50～21:40

②作品上映／表彰式：2026年5月30日（土）／19:15～20:50

③Grand Finale（受賞作品上映・ステージ）：2026年5月31日（日）／19:20～20:10

▶光のアートパーク「Light Art Park」新宿中央公園

会場：新宿中央公園

2026年5月23日（土）～2026年5月31日（日）／毎日19:00～22:00

■主催：プロジェクションマッピング国際アワードT O K Y O実行委員会

■共催：東京都

■後援：新宿区

■公式サイト：<https://tokyolights.jp>

■SNS：

X（旧 Twitter）：[https://x.com/tokyolights\\_jp](https://x.com/tokyolights_jp)

Instagram：[https://www.instagram.com/tokyolights\\_jp/](https://www.instagram.com/tokyolights_jp/)

Facebook：<https://www.facebook.com/tokyolights.jp>

YouTube：<https://www.youtube.com/@tokyolightsjp>

<イベント内容に関するお問い合わせ>

TOKYO LIGHTS 2026 事務局

MAIL:tokyolights\_2026@jtbc.com.co.jp（土日祝日を除く平日 10時～17時）